

平成 26 年度 市民意識調査

市民主体のまちづくりについて

(中間報告)

1 調査の概要

目 的	<p>本市では、「市民主体のまちづくり」を進めていくための基本ルールとなる「北九州市自治基本条例」を定め、平成 22 年 10 月に施行した。</p> <p>同条例において、市は、「市民主体のまちづくり」を実現するため、「情報共有」「市民参画」「コミュニティの活動」を積極的に推進することとしている。</p> <p>そこで今年度は「市民主体のまちづくりについて」をテーマとし、市民が市政やまちづくりに関心を持つために必要な情報発信の方法や内容、市政に対する市民の意見や提案を市政に反映させる仕組み、また、市民が地域のまちづくりに参加しやすくなる環境等について、市民の意見を把握し、今後の施策検討の資料とする。</p>
項 目	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市自治基本条例」と「自治」について ・「市政やまちづくりの情報」について ・「市民参画」について ・「住民主体のまちづくり」について など
方 法	調査対象者に、選択肢を選んでもらう自記入方式
対 象 者	<p>市内に居住する 20 歳以上の男女個人 3,000 人</p> <p><標本抽出の方法></p> <p>平成 26 年 6 月 2 日現在の住民基本台帳(806,707 人)を基に等間隔抽出した。</p>
実 施 方 法	郵送調査
時 期	平成 26 年 6 月 23 日 ~ 平成 26 年 7 月 18 日
有 効 回 収 数	1,275 (有効回収率 42.5%)
担 当 課	<p>市民文化スポーツ局市民部広聴課 (582-2527)</p> <p>総務企画局総務部総務課 (582-2102)</p>

2 回答者の構成

N : 1,275 人

性別	男性	女性	無回答				
	41.0% 523人	58.5% 746人	0.5% 6人				
年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
	7.4% 94人	11.0% 140人	13.9% 177人	17.0% 217人	23.4% 298人	27.1% 345人	0.3% 4人
居住歴	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満
	1.2% 15人	0.9% 12人	1.4% 18人	2.3% 29人	4.2% 54人	9.2% 117人	14.5% 185人
	30年以上	無回答					
	65.7% 838人	0.5% 7人					
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	11.6% 148人	16.9% 215人	19.7% 251人	7.3% 93人	8.8% 112人	29.3% 373人	6.5% 83人
職業	自営業	自由業	会社員	公務員・教員	農・林・漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)
	8.1% 103人	0.9% 11人	26.5% 338人	3.2% 41人	0.3% 4人	13.0% 166人	18.3% 233人
	学生	無職	その他	無回答			
	1.6% 21人	23.4% 298人	4.2% 53人	0.5% 7人			

3 調査結果の概要

1 「北九州市自治基本条例」と「自治」について

- 「北九州市自治基本条例」について知っているか尋ねたところ、「知らない」(61.3%)が最も多く、次いで「名称は知っている」(23.4%)、「どのようなものなのか、ある程度知っている」(12.4%)の順になっている。「内容をよく知っている」(0.5%)と「どのようなものなのか、ある程度知っている」「名称は知っている」を合わせた『認知層』は36.3%で、4割弱となっている。
- 「自治」のあり方は、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」(66.9%)が最も多く、7割弱となっている。次いで「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」(24.5%)、「地域の課題解決は、すべて行政が行う」(3.8%)の順になっている。
- 「自治」を進めるために大切なことは、「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(59.0%)が最も多く、約6割となっている。次いで「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(18.4%)、「市民相互の連携・尊重に努める」(12.9%)の順になっている。

2 「市政やまちづくりの情報」について

- 市が発信している市政やまちづくりに関する情報媒体で、よく見て(聞いて)いるものは、「市政だより」(86.8%)が最も多く、9割弱となっている。次いで、「回覧板」(44.2%)、「テレビ・ラジオのニュース」(36.9%)、「新聞記事」(36.7%)の順で続き、これらは

3割以上となっている。

- 市が発信する情報の中で、興味のある事項は、「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」（59.8%）が最も多く、次いで「健康（保険・医療）に関すること」（58.2%）と続き、これらは5割以上となっている。以下、「防災に関すること」（32.9%）、「安全・安心に関すること」（32.2%）の順となっている。
- 市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、「どちらかと言えば、分かりやすい」（42.8%）が最も多く、次いで「どちらとも言えない」（27.1%）、「分かりやすい」（13.9%）の順になっている。「分かりやすい」（13.9%）と「どちらかと言えば、分かりやすい」を合わせた『分かりやすい』は56.7%で、6割弱となっている。
- 市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量は、「適切」（55.6%）が最も多く、次いで「やや少ない」（25.0%）、「やや多い」（7.1%）の順になっている。「多い」（2.4%）と「やや多い」を合わせた『多い』は9.5%で約1割となり、「やや少ない」と「少ない」（6.4%）を合わせた『少ない』は31.4%で3割強となっている。
- 市の情報発信の方法について改善が必要と思うことは、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」（42.6%）が最も多く、次いで「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」（36.5%）、「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」（20.4%）の順となっている。

3 「市民参画」について

- 市政への関心は、「まあまあ関心がある」（57.7%）が最も多く、6割弱となっている。次いで、「あまり関心がない」（22.9%）、「大変関心がある」（15.6%）の順になっている。「大変関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせた『関心層』は73.3%と7割強となっている。
- 市政に対して意見や提案をする（市民参画）の機会が多いと思うかは、「分からない」（41.7%）が最も多く、次いで「どちらかと言えば少ないと思う」（25.6%）、「どちらかと言えば多いと思う」（14.7%）の順になっている。「多いと思う」（2.0%）と「どちらかと言えば多いと思う」を合わせた『多いと思う』は16.7%で2割弱となり、「どちらかと言えば少ないと思う」と「少ないと思う」（13.8%）を合わせた『少ないと思う』は39.4%で約4割となっている。
- これまでに市政に対して意見や提案をした経験は、「参加した経験はない」（86.5%）が最も多く、9割弱となっている。次いで、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」（6.4%）、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」（2.7%）の順になっている。
- あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じるかは、「どちらとも言えない」（30.4%）が最も多く、次いで「あまり感じていない」（24.5%）と「ほとんど感じていない」（24.5%）が同率で続いている。「大いに感じている」（0.4%）と「ある程度感じている」（8.0%）を合わせた『感じている』は8.4%で1割弱となり、「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」を合わせた『感じていない』は49.0%と約5割となっている。
- あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると「あまり感じていない」「ほとんど

感じていない」と思う理由は、「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(55.5%)が最も多く、6割弱となっている。次いで「自分の意見が市に届いているという実感が無い」(34.4%)、「市政に関する情報発信が不十分」(18.2%)の順になっている。

- 今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思うかは、「興味のある分野で参加したい」(38.8%)が最も多く、次いで「参加したくない」(24.4%)、「時間があれば参加したい」(15.4%)の順になっている。「参加したい」(3.5%)と「時間があれば参加したい」「興味のある分野で参加したい」を合わせた『参加したい』は57.7%で、6割弱となっている。
- 市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思う方法は、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」(47.1%)が最も多く、次いで「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(45.4%)と続き、以下「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」(24.5%)、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」(11.2%)となっている。
- 一方、市政に対して意見や提案をする（市民参画）ことに、「参加したくない」と思う理由は、「参加する時間がない」(28.3%)が最も多く、次いで「特に市政に対する意見がない」(20.6%)、「参加することに興味がない」(19.6%)の順になっている。
- 市政への市民参画を進めるために必要だと思うことは、「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」(29.6%)が最も多く、次いで「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」(22.4%)、「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」(14.3%)の順になっている。

4 「地域活動」について

- これまでに「地域活動」に参加したことがあるかを尋ねたところ、「ある」(52.1%)が「ない」(45.6%)をやや上回っている。
- 参加した「地域活動」で活動回数の多いものは、「自治会・町内会の活動」(86.4%)が最も多く、9割弱となっている。次いで「PTAでの活動」(28.3%)、「子ども会での活動」(28.0%)、「まちづくり協議会の活動」(20.5%)の順となっている。
- 「地域活動」に参加している理由は、「地域の人と触れ合えるから」(58.0%)が最も多く、6割弱となっている。次いで「活動に参加することが当然であるから」(40.8%)、「地域に貢献したかったから」(34.2%)、「地域の必要な情報を得ることができるから」(33.1%)の順となっている。
- 「地域活動」に参加したきっかけは、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(37.7%)が最も多く、次いで「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」(30.4%)、「周囲の人に参加を勧められたから」(26.7%)の順となっている。
- 一方、「地域活動」に参加したことが「ない」理由は、「地域活動する時間がない」(21.0%)が最も多く、次いで「どんな活動をしていいのかわからない」(20.6%)、「地域の団体のことがよくわからない」(17.4%)と「特に理由はない」(17.4%)が同率で続いている。
- これからの地域活動を支える大切な団体は、「自治会・町内会」(75.4%)が最も多く、次いで「まちづくり協議会」(41.5%)、「社会福祉協議会」(26.9%)の順となっている。

5 「自治会・町内会」について

- 住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているかを知っているか尋ねたところ、「ある程度知っている」(46.4%)が最も多く、次いで「あまり知らない」(26.0%)、「よく知っている」(12.1%)の順となっている。「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』は58.5%で6割弱となり、「あまり知らない」と「全く知らない」(11.8%)を合わせた『知らない』は37.8%で4割弱となっている。
- 次に、知っている地域の自治会・町内会の活動を尋ねたところ、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(87.9%)が最も多く、次いで「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.3%)、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(74.3%)、「ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(70.9%)の順となっている。
- 自治会・町内会への加入状況は、「加入している」(73.9%)が7割強で、「加入していない」(18.6%)を上回っている。
- 自治会・町内会に「加入していない」理由は、「加入を勧められたことがない」(35.4%)が最も多く、次いで「役員になりたくない」(28.7%)と「加入しなくても日常生活に支障がない」(28.7%)が同率で続いている。

6 「住民主体によるまちづくり」について

- 住民主体によるまちづくりが必要かを尋ねたところ、「ある程度必要と思う」(46.6%)が最も多く、次いで「非常に必要だと思う」(42.8%)、「どちらとも言えない」(4.2%)の順となっている。「非常に必要だと思う」と「ある程度必要と思う」を合わせた『必要と思う』は89.4%で、約9割となっている。
- 更に「どちらとも言えない」「あまり必要ではない」「ほとんど必要ではない」と思う理由は、「地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない」(38.3%)が最も多く、次いで『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政(役所)がやるものだと思う』(23.3%)、「地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい」(16.7%)と「その他」(16.7%)が同率で続いている。
- 住民主体のまちづくりを進めるために、今後、行政が取り組むべきことは、「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」(46.2%)が最も多く、次いで「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」(40.5%)、「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」(37.2%)、「活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助」(30.8%)、「住民がいつでも集まれる場所の提供」(30.7%)の順となっている。

4 調査の結果

(1) 「北九州市自治基本条例」と「自治」について

問2 あなたは、平成22年10月1日に施行された北九州市自治基本条例について知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275人

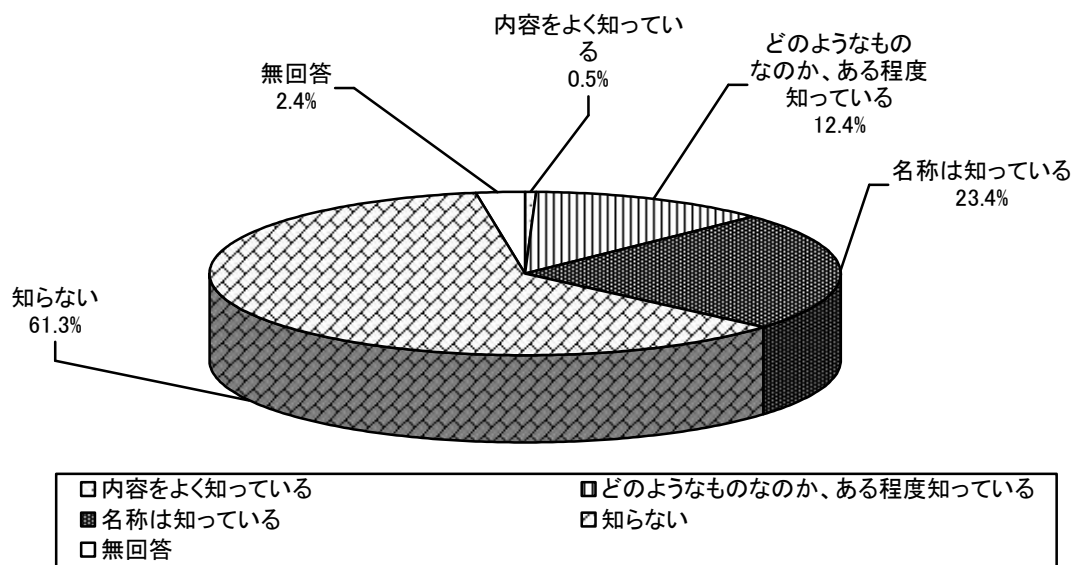
項目	回答数(人)	割合(%)
1 内容をよく知っている	7	0.5
2 どのようなものなのか、ある程度知っている	158	12.4
3 名称は知っている	298	23.4
4 知らない	782	61.3
無回答	30	2.4

◇ 「北九州市自治基本条例」について、

1位 「知らない」(61.3%)

2位 「名称は知っている」(23.4%)

3位 「どのようなものなのか、ある程度知っている」(12.4%)

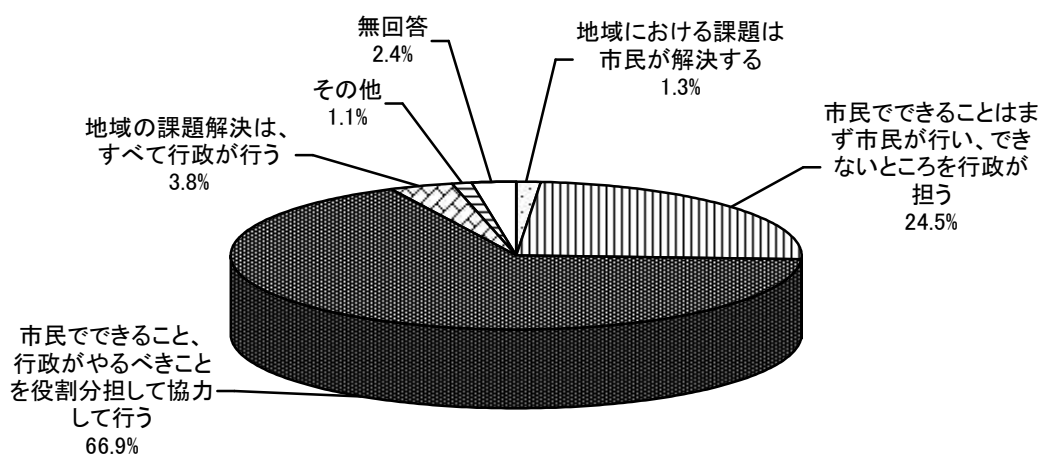


問3 あなたは、「自治」のあり方をどう考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 地域における課題は市民が解決する	17	1.3
2 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う	312	24.5
3 市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う	853	66.9
4 地域の課題解決は、すべて行政が行う	49	3.8
5 その他	14	1.1
無回答	30	2.4

- ◇ 「自治」のあり方は、
- 1位 「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」(66.9%)
 - 2位 「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」(24.5%)
 - 3位 「地域の課題解決は、すべて行政が行う」(3.8%)



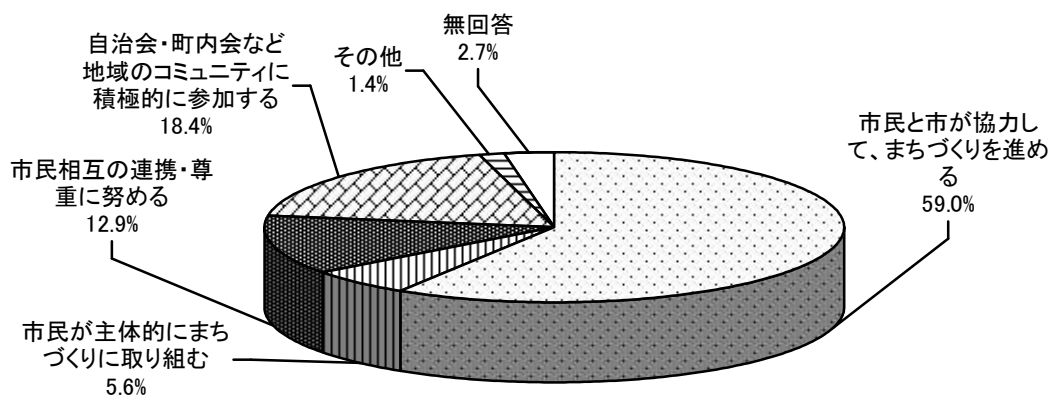
- 地域における課題は市民が解決する
- 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う
- 市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う
- 地域の課題解決は、すべて行政が行う
- その他
- 無回答

問4 あなたは、「自治」を進めるためには、どのようなことが大切だと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 市民と市が協力して、まちづくりを進める	752	59.0
2 市民が主体的にまちづくりに取り組む	71	5.6
3 市民相互の連携・尊重に努める	165	12.9
4 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する	235	18.4
5 その他	18	1.4
無回答	34	2.7

- ◇ 「自治」を進めるために大切なことは、
- 1位 「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(59.0%)
 - 2位 「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(18.4%)
 - 3位 「市民相互の連携・尊重に努める」(12.9%)



□ 市民と市が協力して、まちづくりを進める
□ 市民が主体的にまちづくりに取り組む
■ 市民相互の連携・尊重に努める
▣ 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する
日 その他
□ 無回答

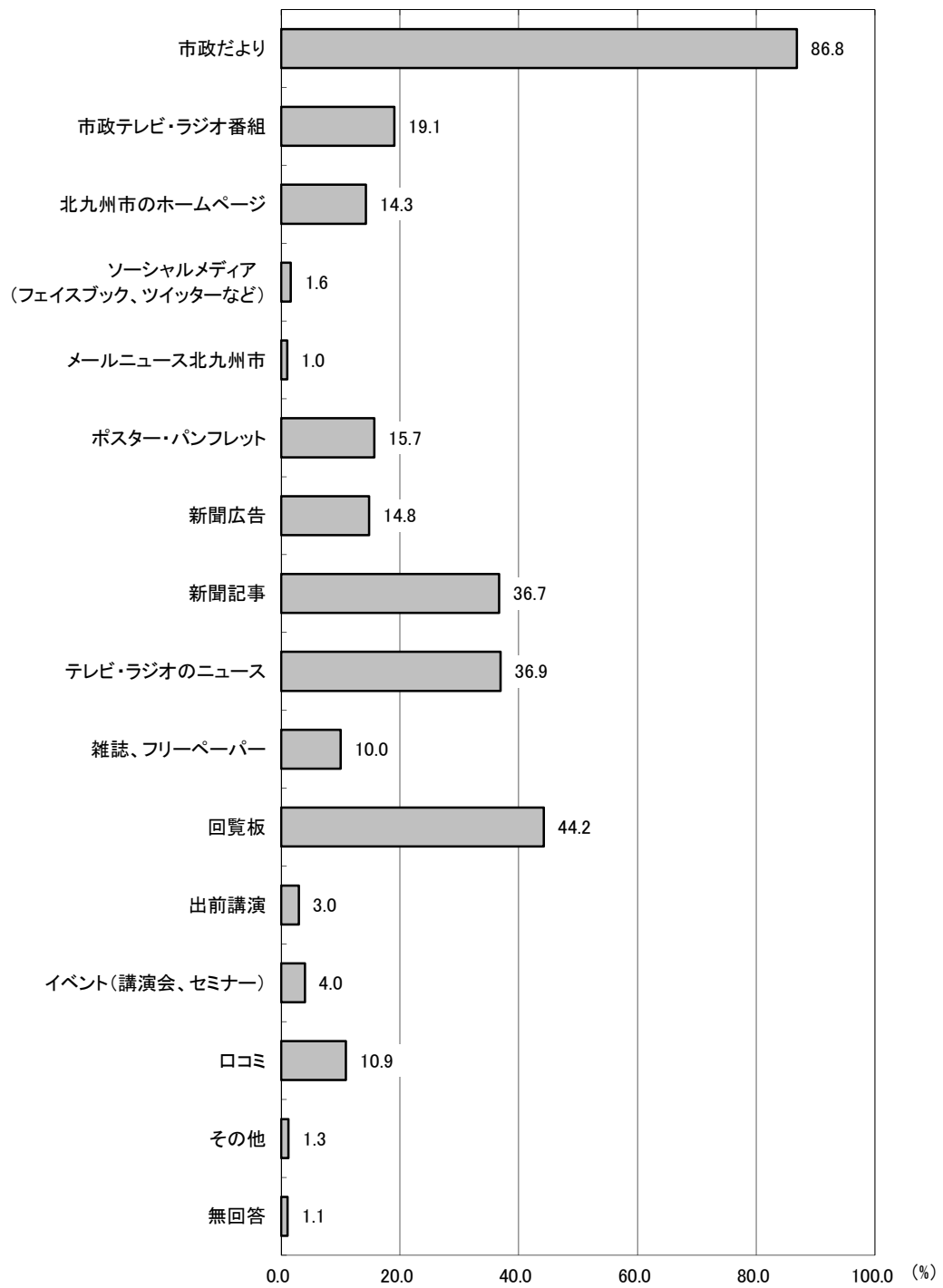
(2)「市政やまちづくりの情報」について

問5 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報を普段どこから入手していますか。よく見て(聞いて)いるものを次の中からいくつでも選んでください。

N : 1,275人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 市政だより	1,107	86.8
2 市政テレビ・ラジオ番組	243	19.1
3 北九州市のホームページ	182	14.3
4 ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)	21	1.6
5 メールニュース北九州市	13	1.0
6 ポスター・パンフレット	200	15.7
7 新聞広告	189	14.8
8 新聞記事	468	36.7
9 テレビ・ラジオのニュース	471	36.9
10 雑誌、フリーペーパー	128	10.0
11 回覧板	564	44.2
12 出前講演	38	3.0
13 イベント(講演会、セミナー)	51	4.0
14 口コミ	139	10.9
15 その他	16	1.3
無回答	14	1.1

◇ よく見て(聞いて)いる、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、
1位 「市政だより」(86.8%)
2位 「回覧板」(44.2%)
3位 「テレビ・ラジオのニュース」(36.9%)

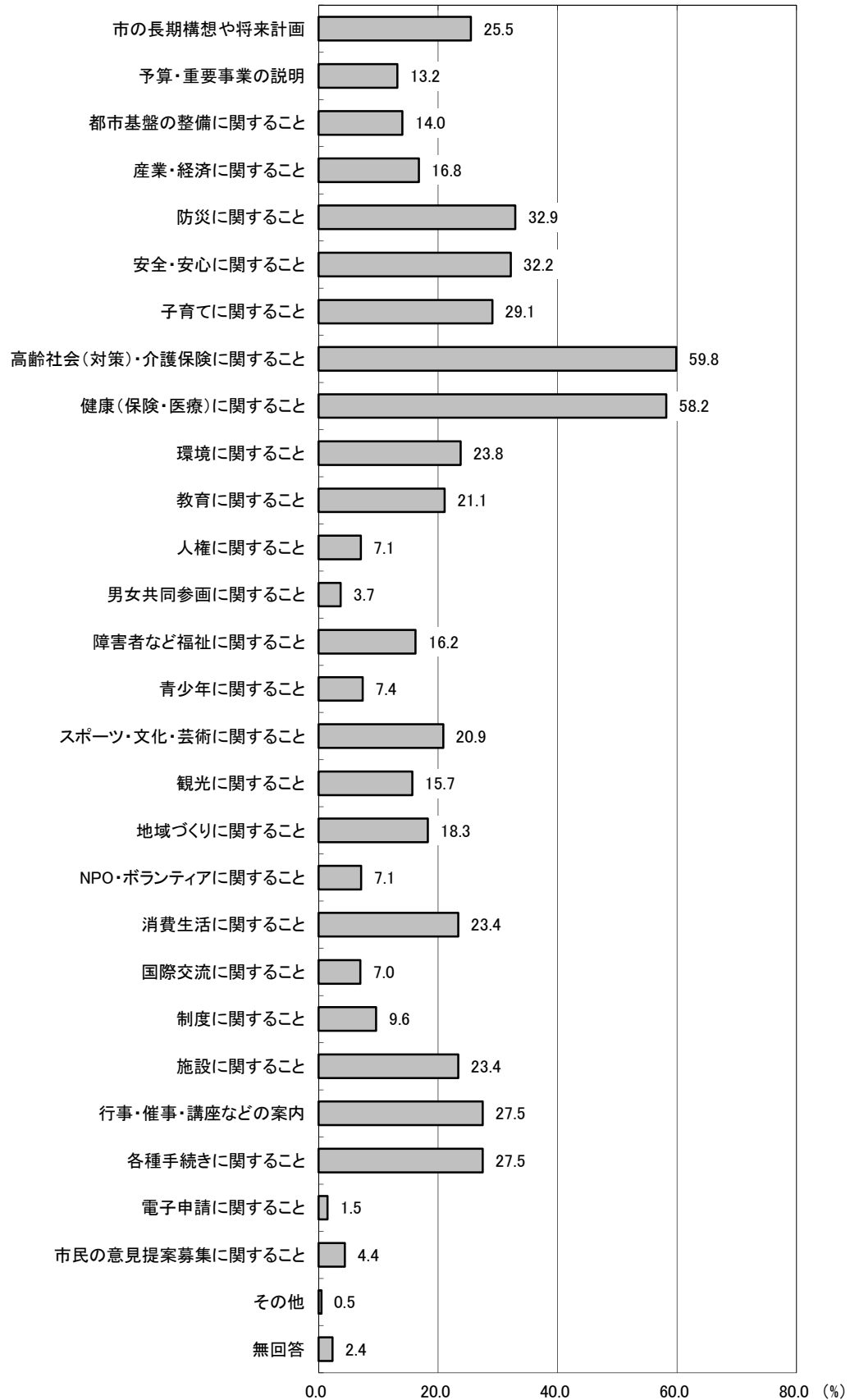


問6 北九州市が発信する情報の中で、あなたにとって興味のある事項は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

N : 1,275人

項目	回答数（人）	割合（％）
1 市の長期構想や将来計画	325	25.5
2 予算・重要事業の説明	168	13.2
3 都市基盤の整備に関すること	179	14.0
4 産業・経済に関すること	214	16.8
5 防災に関すること	420	32.9
6 安全・安心に関すること	410	32.2
7 子育てに関すること	371	29.1
8 高齢社会（対策）・介護保険に関すること	763	59.8
9 健康（保険・医療）に関すること	742	58.2
10 環境に関すること	303	23.8
11 教育に関すること	269	21.1
12 人権に関すること	90	7.1
13 男女共同参画に関すること	47	3.7
14 障害者など福祉に関すること	207	16.2
15 青少年に関すること	94	7.4
16 スポーツ・文化・芸術に関すること	266	20.9
17 観光に関すること	200	15.7
18 地域づくりに関すること	233	18.3
19 NPO・ボランティアに関すること	91	7.1
20 消費生活に関すること	298	23.4
21 国際交流に関すること	89	7.0
22 制度に関すること	123	9.6
23 施設に関すること	298	23.4
24 行事・催事・講座などの案内	350	27.5
25 各種手続きに関すること	350	27.5
26 電子申請に関すること	19	1.5
27 市民の意見提案募集に関すること	56	4.4
28 その他	6	0.5
無回答	30	2.4

- ◇ 北九州市が発信する情報の中で、興味のある事項は、
- 1位 「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」（59.8%）
 - 2位 「健康（保険・医療）に関すること」（58.2%）
 - 3位 「防災に関すること」（32.9%）



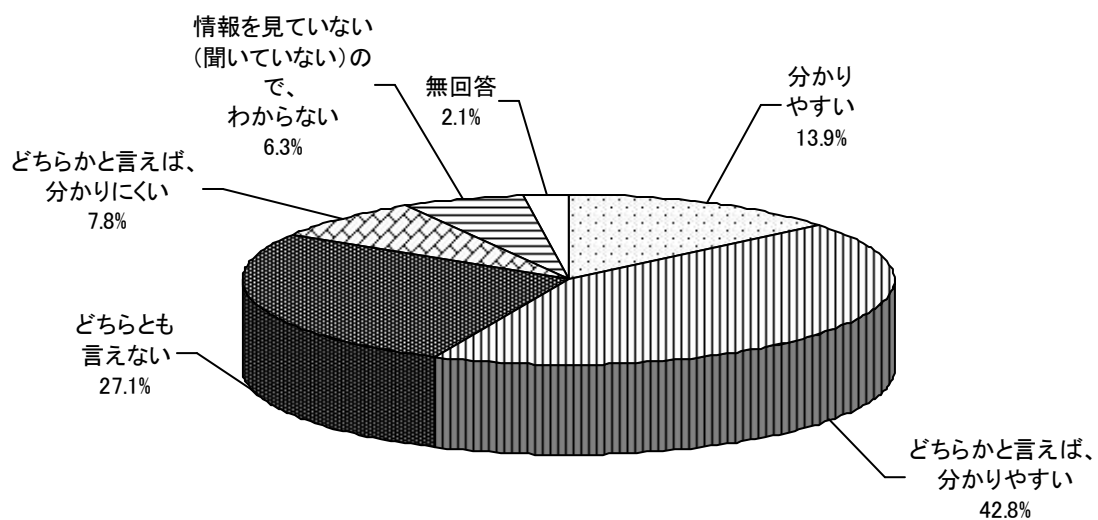
問7 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報（市政だよりやパンフレット、インターネット、広報番組など）について分かりやすいと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 分かりやすい	177	13.9
2 どちらかと言えば、分かりやすい	546	42.8
3 どちらとも言えない	345	27.1
4 どちらかと言えば、分かりにくい	100	7.8
5 情報を見ていない（聞いていない）ので、分からない	80	6.3
無回答	27	2.1

◇ 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、

- 1位 「どちらかと言えば、分かりやすい」（42.8%）
- 2位 「どちらとも言えない」（27.1%）
- 3位 「分かりやすい」（13.9%）



□ 分かりやすい	▣ どちらかと言えば、分かりやすい	■ どちらとも言えない	▤ どちらかと言えば、分かりにくい	▥ 情報を見ていない（聞いていない）ので、分からない	□ 無回答
----------	-------------------	-------------	-------------------	----------------------------	-------

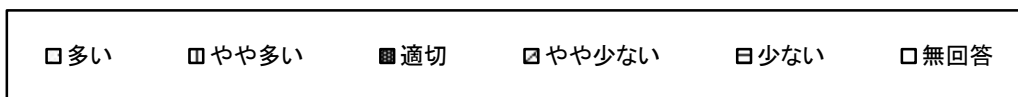
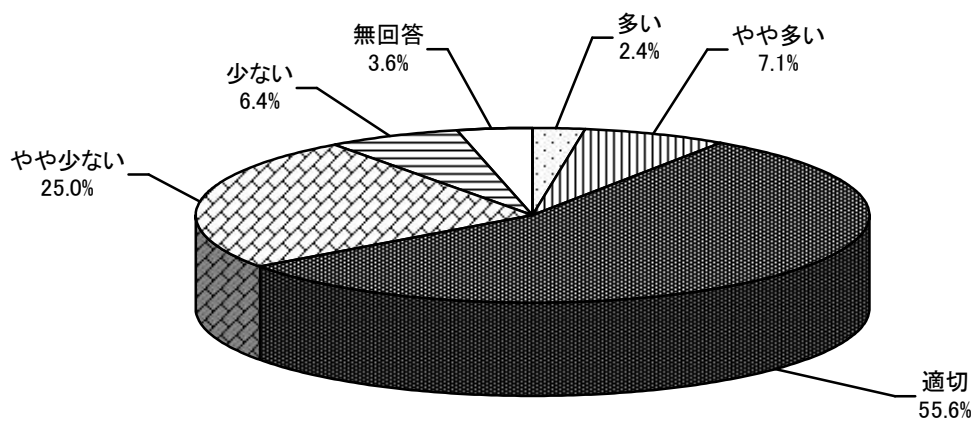
問8 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量についてどのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 多い	30	2.4
2 やや多い	90	7.1
3 適切	709	55.6
4 やや少ない	319	25.0
5 少ない	81	6.4
無回答	46	3.6

◇ 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量は、

- 1位 「適切」(55.6%)
- 2位 「やや少ない」(25.0%)
- 3位 「やや多い」(7.1%)

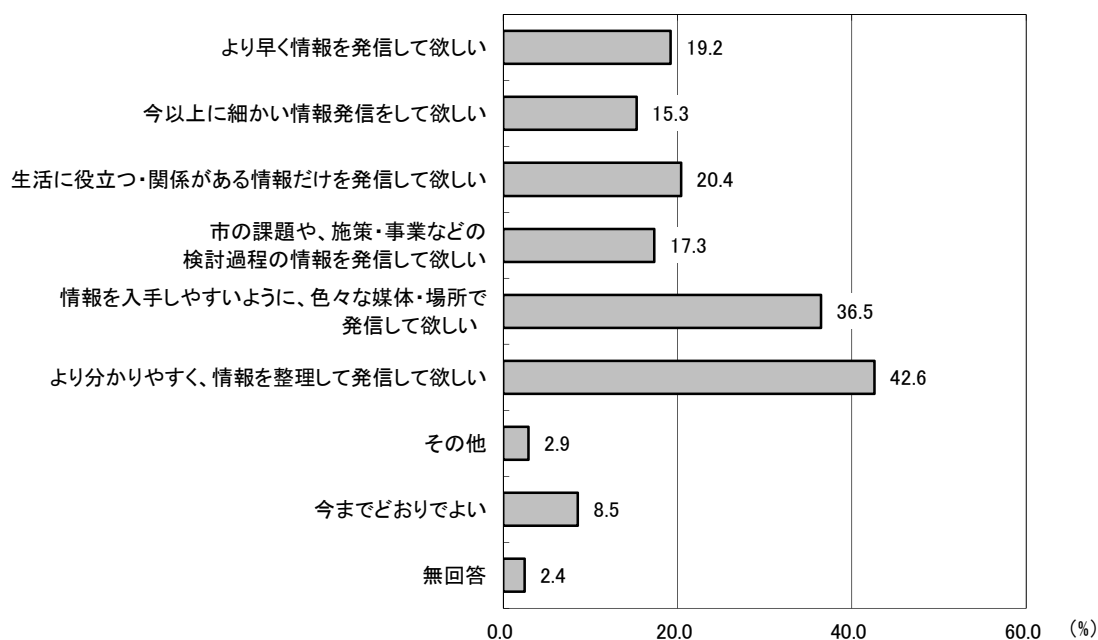


問9 あなたは、北九州市からの情報発信の方法について、どのような改善が必要だと思いますか。改善が必要と思われるものを次の中から2つまで選んでください。

N : 1,275人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 より早く情報を発信して欲しい	245	19.2
2 今以上に細かい情報発信をして欲しい	195	15.3
3 生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい	260	20.4
4 市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報を発信して欲しい	221	17.3
5 情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい	465	36.5
6 より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい	543	42.6
7 その他	37	2.9
8 今までどおりでよい	109	8.5
無回答	31	2.4

- ◇ 北九州市からの情報発信の方法について改善が必要と思うことは、
- 1位 「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(42.6%)
 - 2位 「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(36.5%)
 - 3位 「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」(20.4%)



(3)「市民参画」について

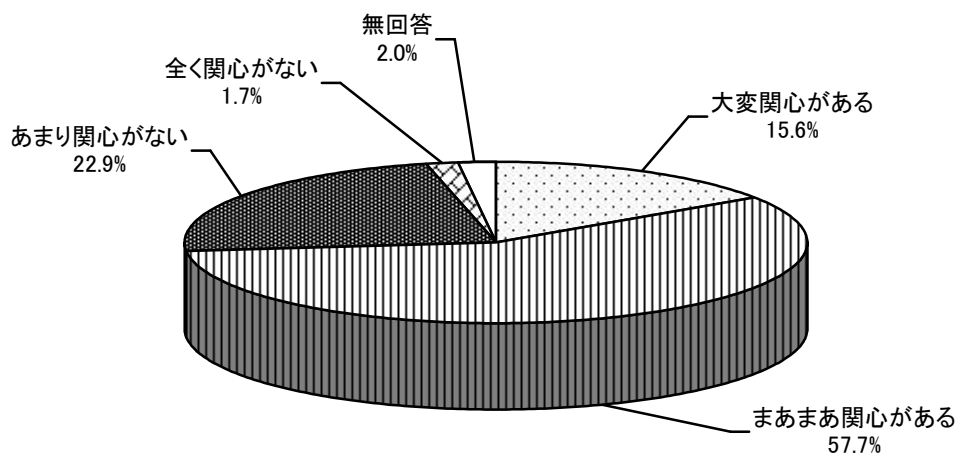
問 10 あなたは、北九州市の市政に関心がありますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 大変関心がある	199	15.6
2 まあまあ関心がある	736	57.7
3 あまり関心がない	292	22.9
4 全く関心がない	22	1.7
無回答	26	2.0

◇ 市政への関心は、

- 1位 「まあまあ関心がある」(57.7%)
- 2位 「あまり関心がない」(22.9%)
- 3位 「大変関心がある」(15.6%)



大変関心がある
 まあまあ関心がある
 あまり関心がない
 全く関心がない
 無回答

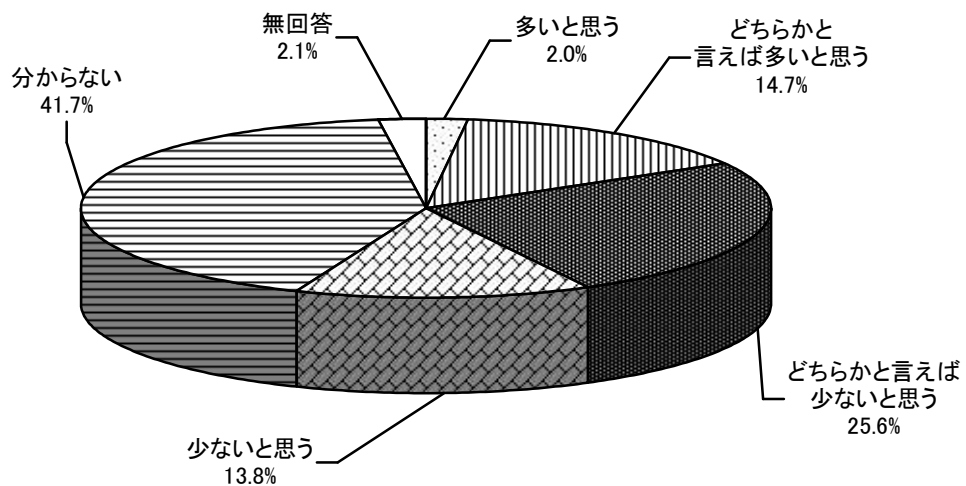
問 11 北九州市は市政に対して意見や提案をする（市民参画）の機会が多いと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 多いと思う	25	2.0
2 どちらかと言えば多いと思う	188	14.7
3 どちらかと言えば少ないと思う	327	25.6
4 少ないと思う	176	13.8
5 分からない	532	41.7
無回答	27	2.1

◇ 市政に対して意見や提案をする（市民参画）の機会が多いと思うかは、

- 1位 「分からない」（41.7%）
- 2位 「どちらかと言えば少ないと思う」（25.6%）
- 3位 「どちらかと言えば多いと思う」（14.7%）



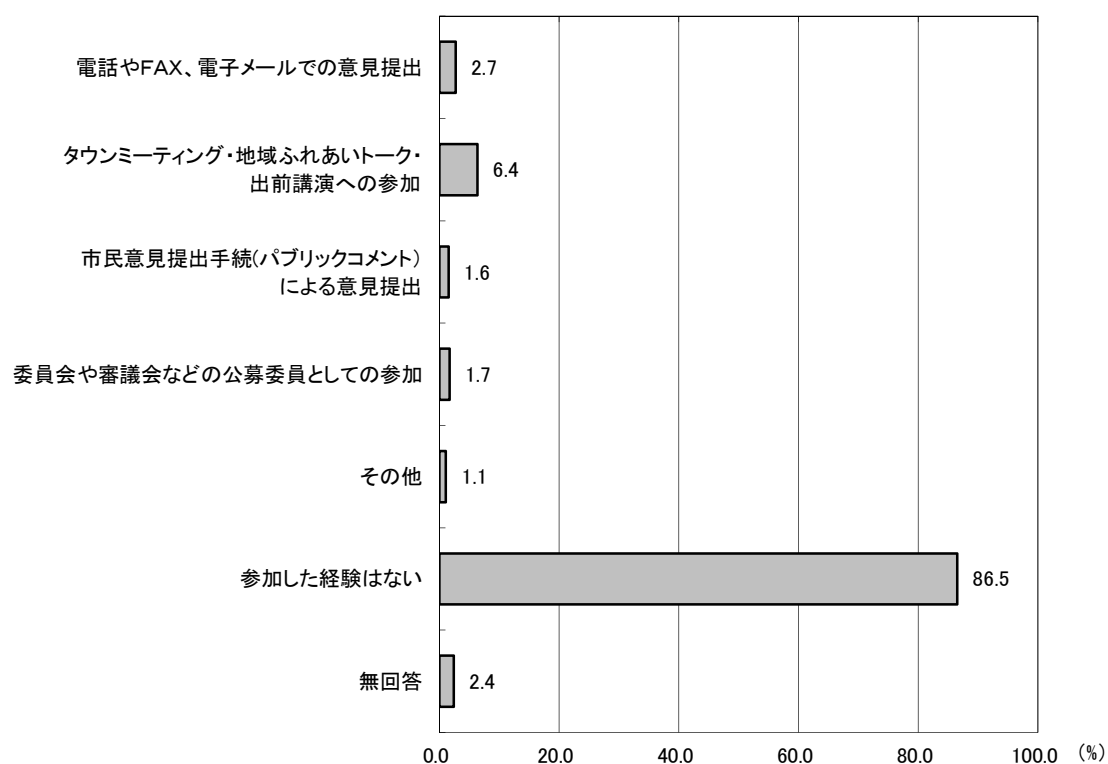
□ 多いと思う	▨ どちらか 言えば 多いと思う	■ どちらか 言えば 少ないと思う	▩ 少ないと思う	□ 分からない	□ 無回答
---------	------------------------	-------------------------	----------	---------	-------

問 12 あなたは、これまでに市政に対して意見や提案をした経験がありますか。経験がある方は、1から5の中で、参加したことがあるものを全て選んでください。参加した経験がない方は、6を選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 電話やFAX、電子メールでの意見提出	35	2.7
2 タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加	81	6.4
3 市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	20	1.6
4 委員会や審議会などの公募委員としての参加	22	1.7
5 その他	14	1.1
6 参加した経験はない	1,103	86.5
無回答	31	2.4

- ◇ これまでに市政に対して意見や提案をした経験は、
- 1位 「参加した経験はない」(86.5%)
 - 2位 「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」(6.4%)
 - 3位 「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(2.7%)



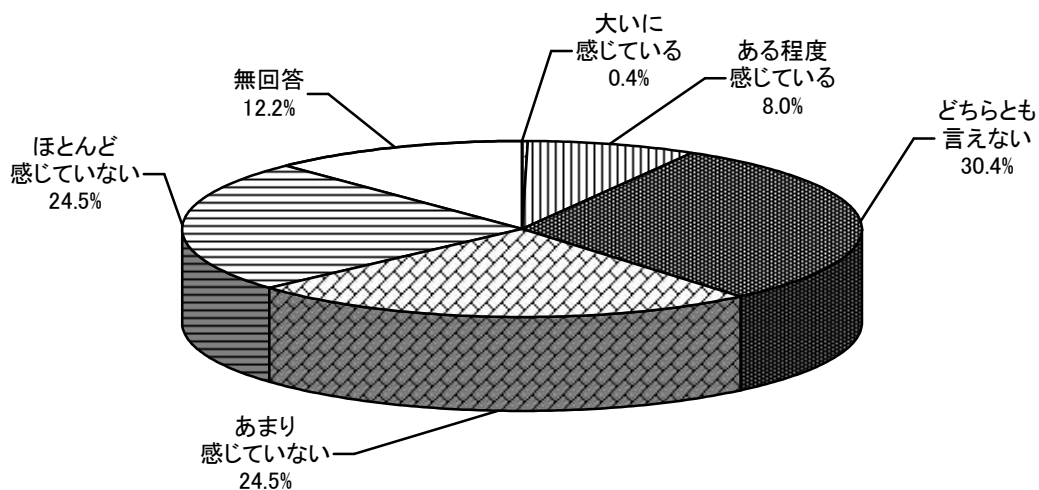
問 13 あなたは、あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 大いに感じている	5	0.4
2 ある程度感じている	102	8.0
3 どちらとも言えない	388	30.4
4 あまり感じていない	312	24.5
5 ほとんど感じていない	313	24.5
無回答	155	12.2

◇ あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じるかは、

- 1位 「どちらとも言えない」 (30.4%)
- 2位 「あまり感じていない」 (24.5%・同率)
- 「ほとんど感じていない」 (24.5%・同率)



□ 大いに 感じている	□ ある程度 感じている	■ どちらとも 言えない	□ あまり 感じていない	□ ほとんど 感じていない	□ 無回答
----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-------

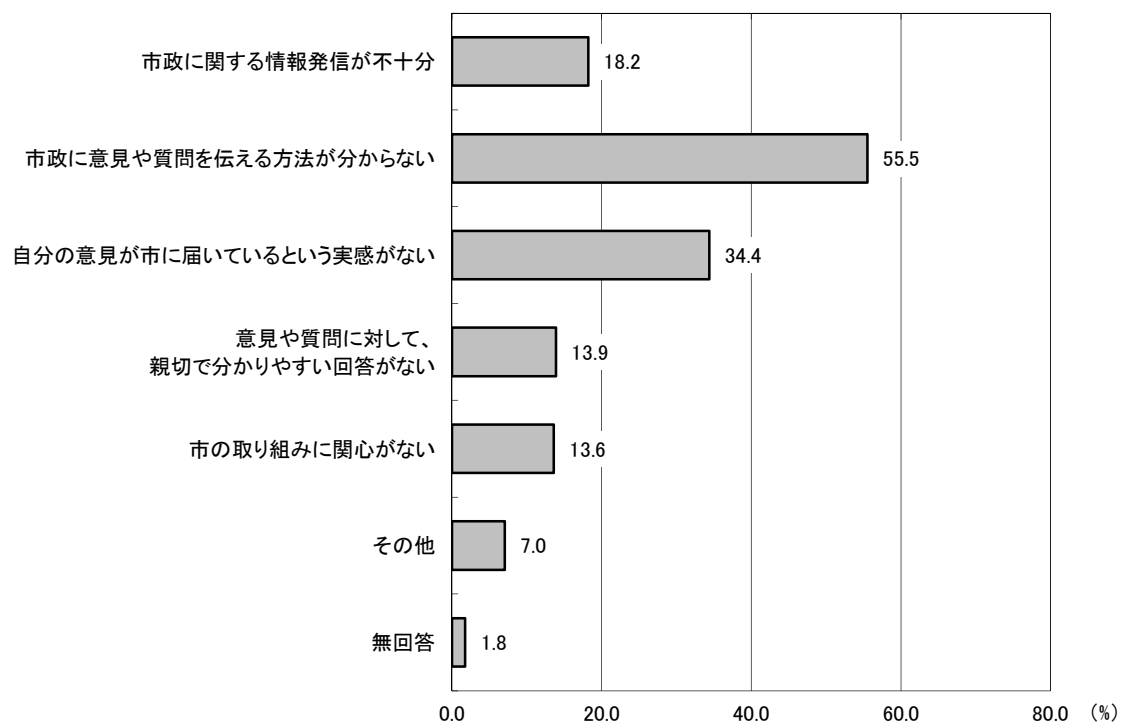
副問 13-1 問 13 で 4 もしくは 5 を選んだ理由について、次の中から 2 つまで選んでください。

N : 625 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 市政に関する情報発信が不十分	114	18.2
2 市政に意見や質問を伝える方法が分からない	347	55.5
3 自分の意見が市に届いているという実感がない	215	34.4
4 意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない	87	13.9
5 市の取り組みに関心がない	85	13.6
6 その他	44	7.0
無回答	11	1.8

◇ あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」と思う理由は、

- 1 位 「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(55.5%)
- 2 位 「自分の意見が市に届いているという実感がない」(34.4%)
- 3 位 「市政に関する情報発信が不十分」(18.2%)



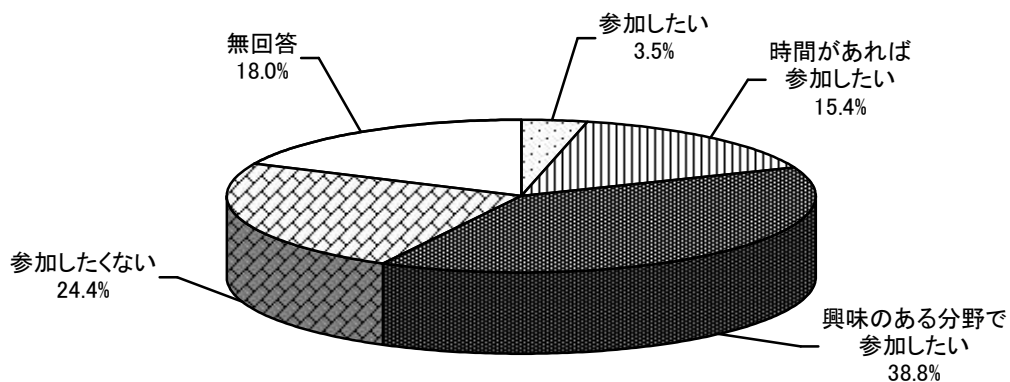
問 14 あなたは、今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思いませんか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 参加したい	44	3.5
2 時間があれば参加したい	196	15.4
3 興味のある分野で参加したい	495	38.8
4 参加したくない	311	24.4
無回答	229	18.0

◇ 今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思うかは、

- 1位 「興味のある分野で参加したい」（38.8%）
- 2位 「参加したくない」（24.4%）
- 3位 「時間があれば参加したい」（15.4%）



□ 参加したい □ 時間があれば参加したい ■ 興味のある分野で参加したい □ 参加したくない □ 無回答

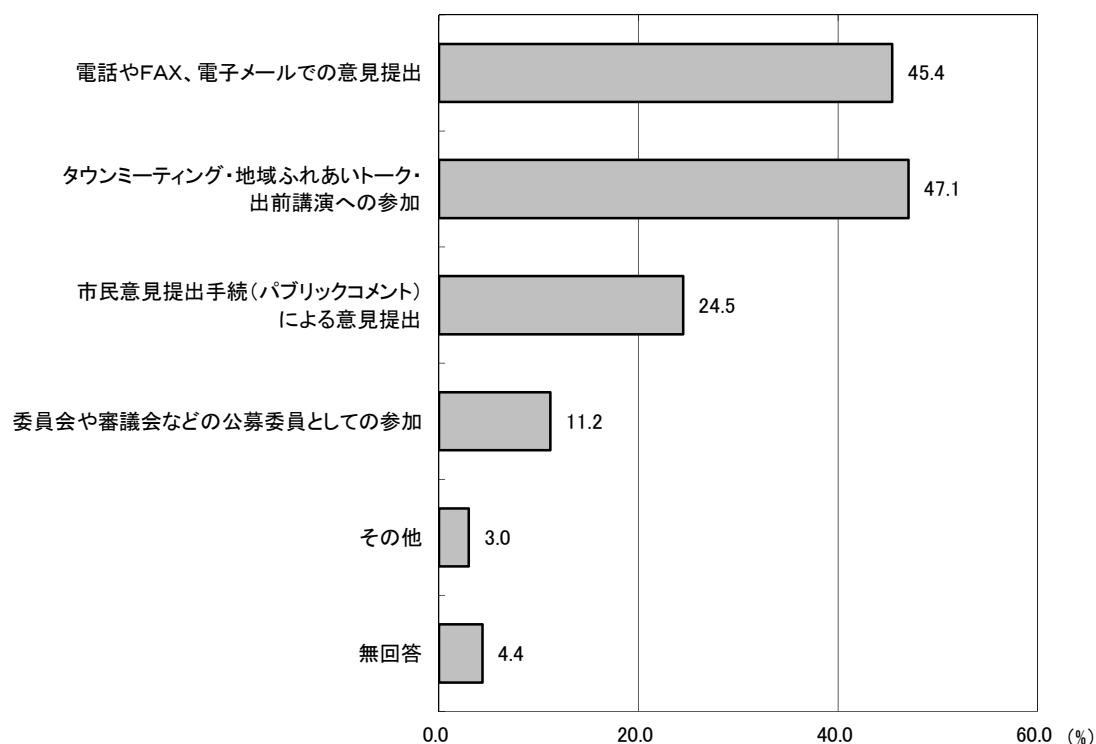
副問 14-1 問 14 で 1、2、3 を選んだ方におたずねします。あなたが参加するとすれば、どのような方法で参加したいですか。参加したいと思うものを 2 つまで選んでください。

N : 735 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 電話や F A X、電子メールでの意見提出	334	45.4
2 タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加	346	47.1
3 市民意見提出手続 (パブリックコメント) による意見提出	180	24.5
4 委員会や審議会などの公募委員としての参加	82	11.2
5 その他	22	3.0
無回答	32	4.4

◇ 市政に対して意見や提案をしたい (市民参画) と思う方法は、

- 1 位 「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」 (47.1%)
- 2 位 「電話や F A X、電子メールでの意見提出」 (45.4%)
- 3 位 「市民意見提出手続 (パブリックコメント) による意見提出」 (24.5%)



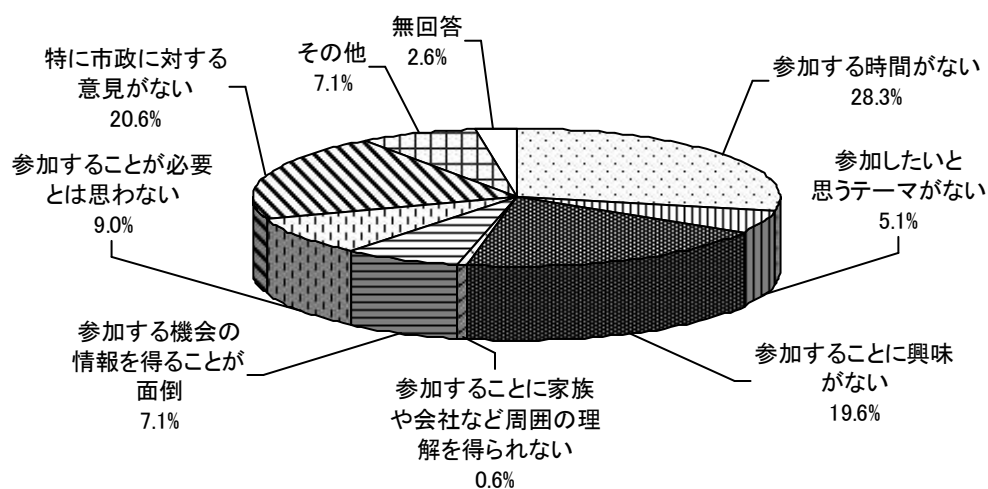
副問 14-2 問 14 で 4 を選んだ方におたずねします。4 を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 1 つだけ選んでください。

N : 311 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 参加する時間がない	88	28.3
2 参加したいと思うテーマがない	16	5.1
3 参加することに興味がない	61	19.6
4 参加することに家族や会社など周囲の理解を得られない	2	0.6
5 参加する機会の情報を得ることが面倒	22	7.1
6 参加することが必要とは思わない	28	9.0
7 特に市政に対する意見がない	64	20.6
8 その他	22	7.1
無回答	8	2.6

◇ 今後（または今後も）市政に対して意見や提案をする（市民参画）ことに、「参加したくない」と思う理由は、

- 1 位 「参加する時間がない」 (28.3%)
- 2 位 「特に市政に対する意見がない」 (20.6%)
- 3 位 「参加することに興味がない」 (19.6%)



<input type="checkbox"/>	参加する時間がない
<input type="checkbox"/>	参加したいと思うテーマがない
<input type="checkbox"/>	参加することに興味がない
<input type="checkbox"/>	参加することに家族や会社など周囲の理解を得られない
<input type="checkbox"/>	参加する機会の情報を得ることが面倒
<input type="checkbox"/>	参加することが必要とは思わない
<input type="checkbox"/>	特に市政に対する意見がない
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	無回答

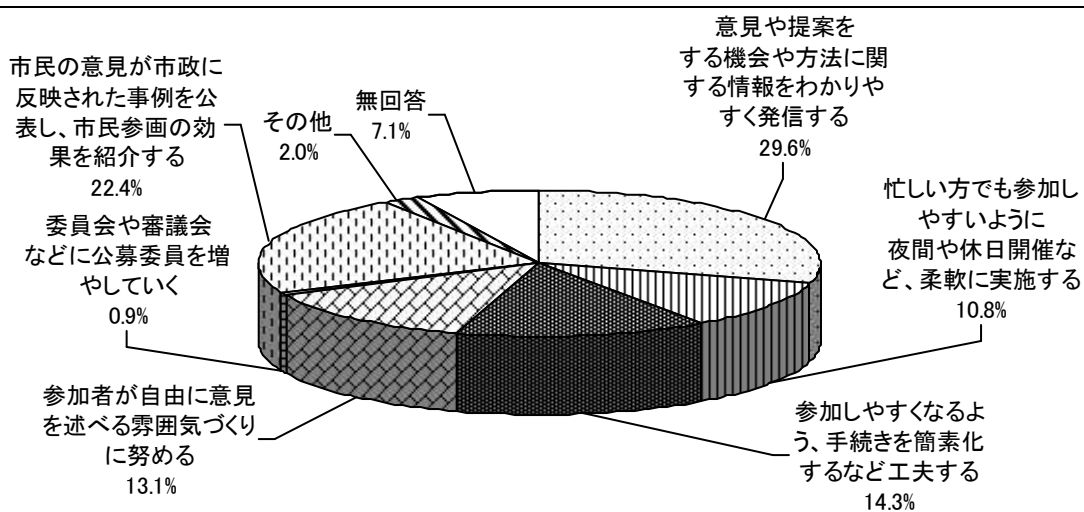
問 15 北九州市において、市政への市民参画を進めるためには、何が必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する	377	29.6
2 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する	138	10.8
3 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する	182	14.3
4 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める	167	13.1
5 委員会や審議会などに公募委員を増やしていく	11	0.9
6 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する	285	22.4
7 その他	25	2.0
無回答	90	7.1

◇ 市政への市民参画を進めるために必要だと思うことは、

- 1位 「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」 (29.6%)
- 2位 「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」 (22.4%)
- 3位 「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」 (14.3%)



- 意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する
- 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する
- 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する
- 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める
- 委員会や審議会などに公募委員を増やしていく
- 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する
- その他
- 無回答

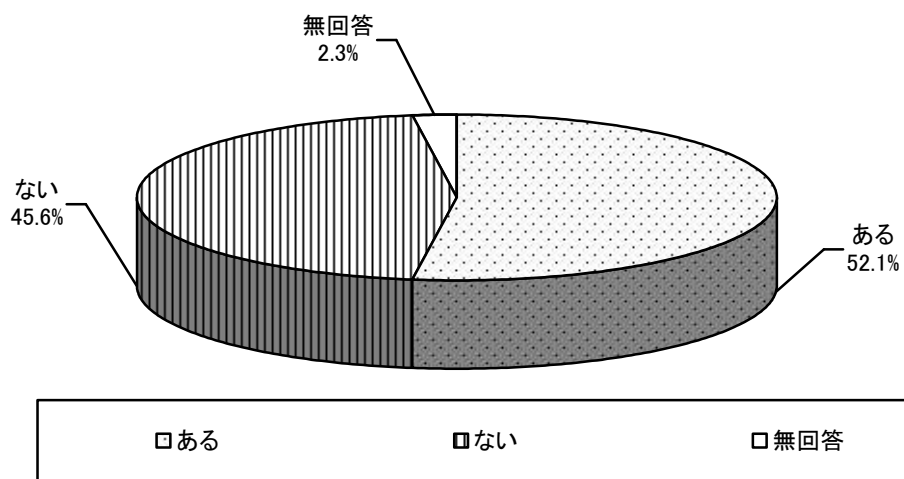
(4)「地域活動」について

問 16 あなたは、これまでに「地域活動」に参加したことがありますか。どちらか1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 ある	664	52.1
2 ない	582	45.6
無回答	29	2.3

◇ これまでに「地域活動」に参加したことが、
1位 「ある」(52.1%)
2位 「ない」(45.6%)

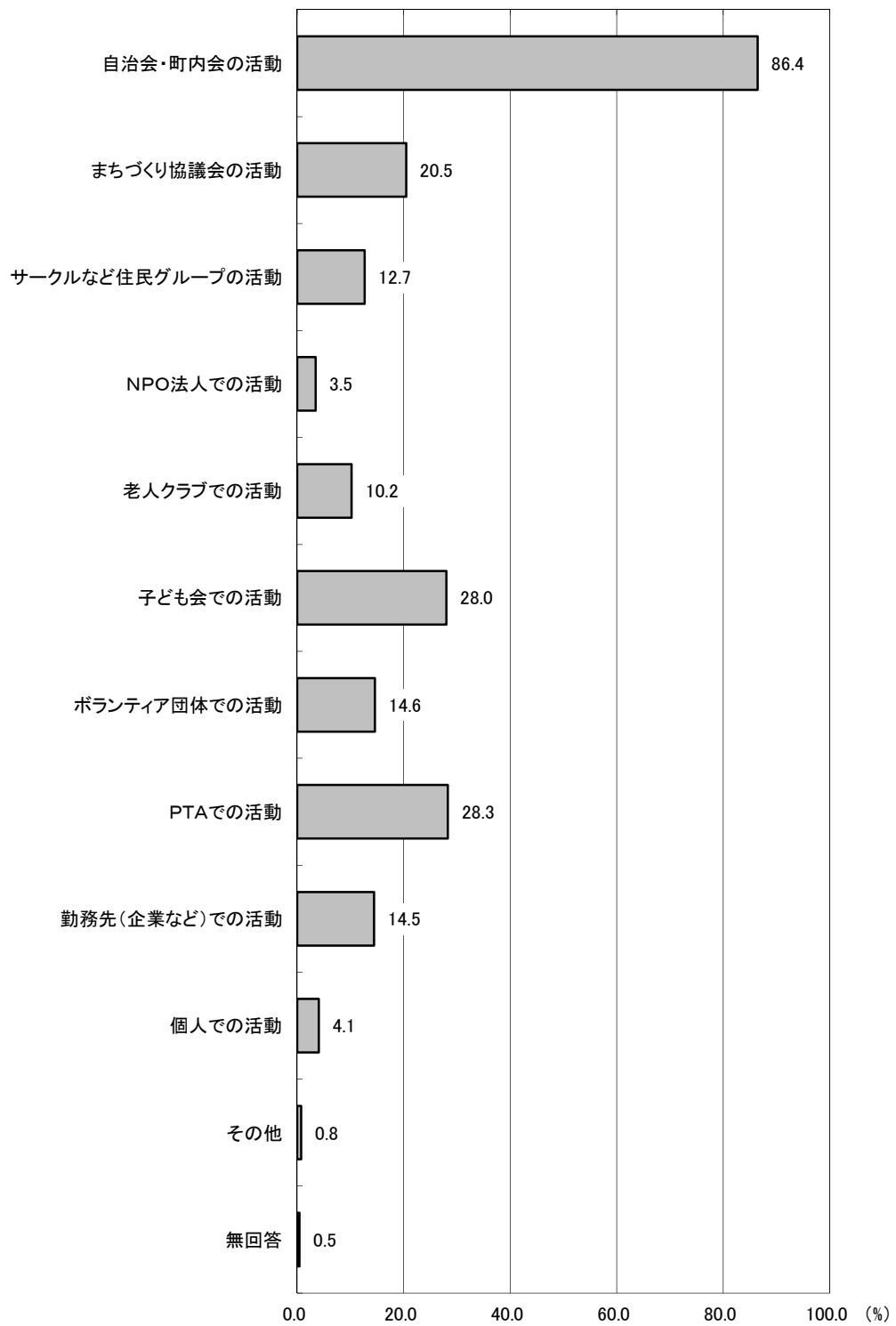


副問 16-1 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。どのような「地域活動」に参加しましたか。活動回数の多いものを 3 つまで選んでください。

N : 664 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 自治会・町内会の活動	574	86.4
2 まちづくり協議会の活動	136	20.5
3 サークルなど住民グループの活動	84	12.7
4 NPO法人での活動	23	3.5
5 老人クラブでの活動	68	10.2
6 子ども会での活動	186	28.0
7 ボランティア団体での活動	97	14.6
8 PTAでの活動	188	28.3
9 勤務先（企業など）での活動	96	14.5
10 個人での活動	27	4.1
11 その他	5	0.8
無回答	3	0.5

- ◇ 参加した「地域活動」で活動回数の多いものは、
- 1 位 「自治会・町内会の活動」（86.4%）
 - 2 位 「PTAでの活動」（28.3%）
 - 3 位 「子ども会での活動」（28.0%）

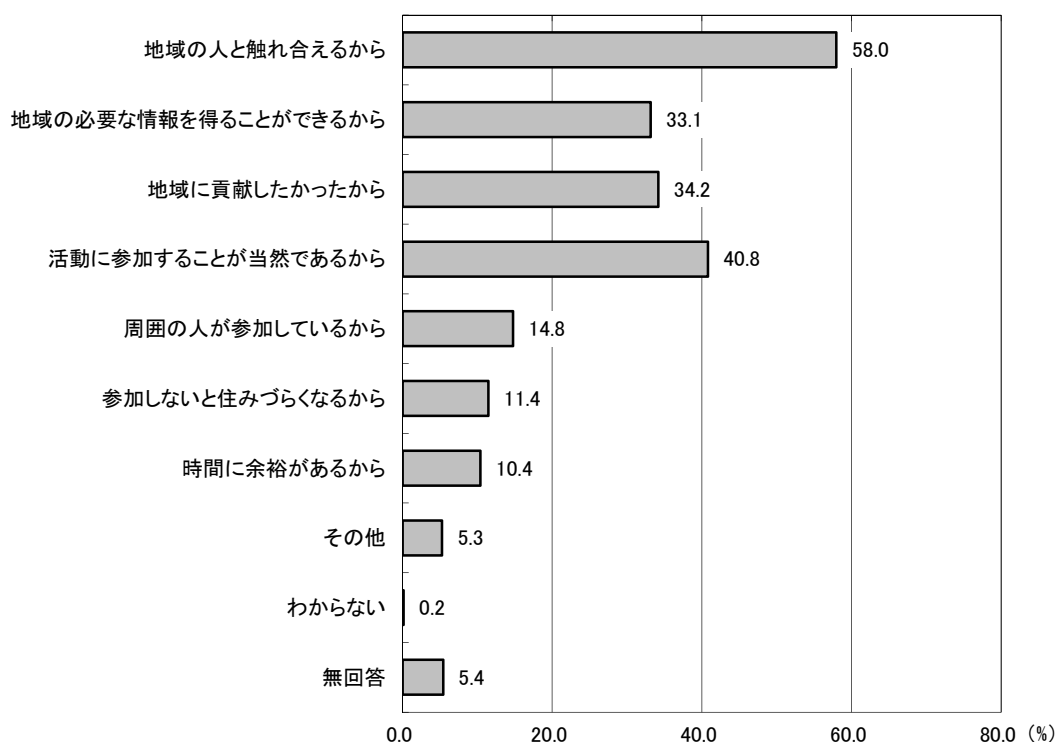


副問 16-2 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加している理由は何ですか。次の中から 3 つまで選んでください。

N : 664 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 地域の人と触れ合えるから	385	58.0
2 地域の必要な情報を得ることができるから	220	33.1
3 地域に貢献したかったから	227	34.2
4 活動に参加することが当然であるから	271	40.8
5 周囲の人が参加しているから	98	14.8
6 参加しないと住みづらくなるから	76	11.4
7 時間に余裕があるから	69	10.4
8 その他	35	5.3
9 わからない	1	0.2
無回答	36	5.4

- ◇ 「地域活動」に参加している理由は、
- 1 位 「地域の人と触れ合えるから」 (58.0%)
 - 2 位 「活動に参加することが当然であるから」 (40.8%)
 - 3 位 「地域に貢献したかったから」 (34.2%)



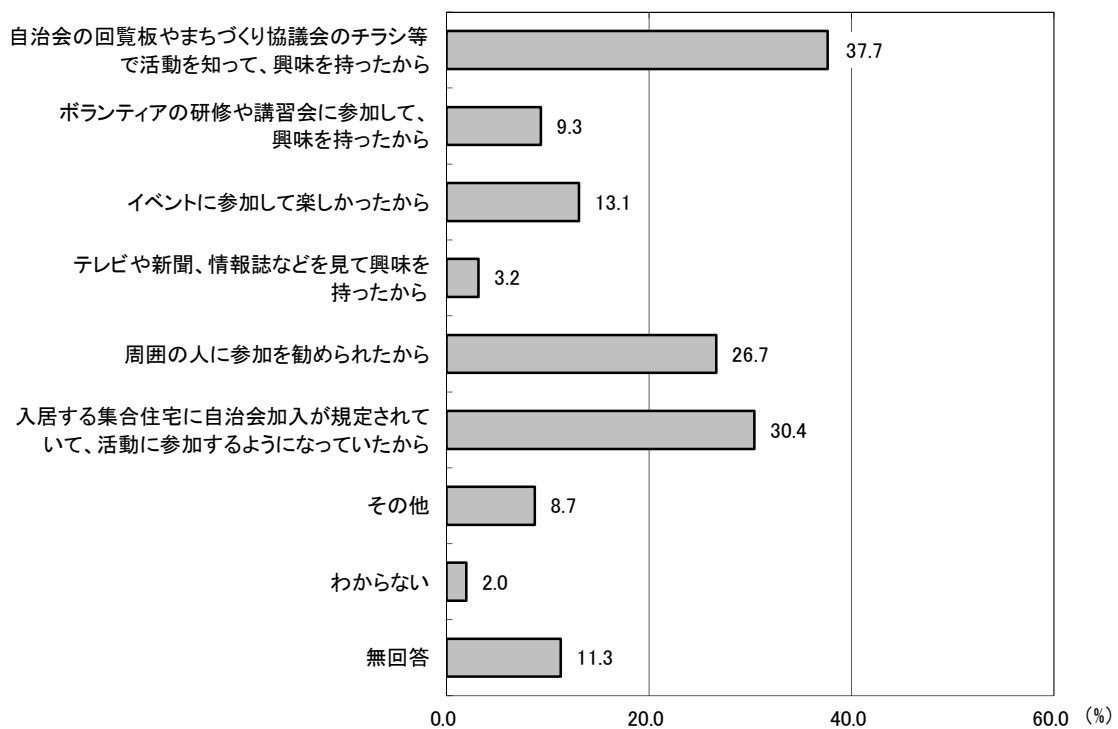
副問 16-3 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加したきっかけは何ですか。次の中から 2 つまで選んでください。

N : 664 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから	250	37.7
2 ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから	62	9.3
3 イベントに参加して楽しかったから	87	13.1
4 テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから	21	3.2
5 周囲の人に参加を勧められたから	177	26.7
6 入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから	202	30.4
7 その他	58	8.7
8 わからない	13	2.0
無回答	75	11.3

◇ 「地域活動」に参加したきっかけは、

- 1 位 「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(37.7%)
- 2 位 「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」(30.4%)
- 3 位 「周囲の人に参加を勧められたから」(26.7%)

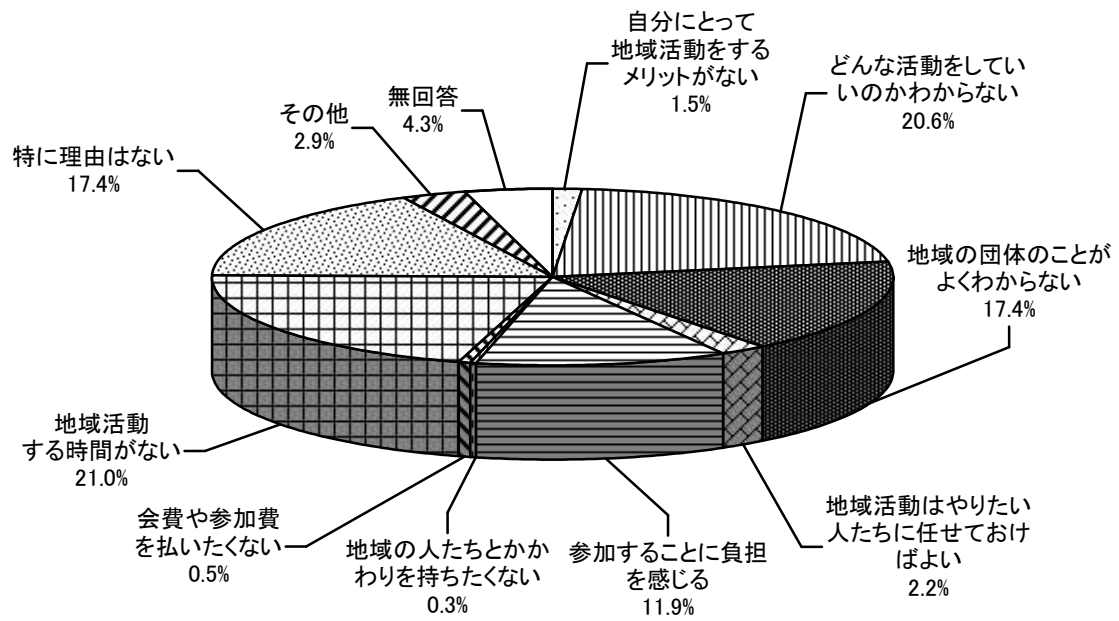


副問 16-4 問 16 で 2 を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 1 つだけ選んでください。

N : 582 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自分にとって地域活動をするメリットがない	9	1.5
2 どんな活動をしていいのかわからない	120	20.6
3 地域の団体のことがよくわからない	101	17.4
4 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい	13	2.2
5 参加することに負担を感じる	69	11.9
6 地域の人たちとかかわりを持ちたくない	2	0.3
7 会費や参加費を払いたくない	3	0.5
8 地域活動する時間がない	122	21.0
9 特に理由はない	101	17.4
10 その他	17	2.9
無回答	25	4.3

- ◇ 「地域活動」に参加したことが「ない」理由は、
- 1 位 「地域活動する時間がない」(21.0%)
 - 2 位 「どんな活動をしていいのかわからない」(20.6%)
 - 3 位 「地域の団体のことがよくわからない」(17.4%・同率)
「特に理由はない」(17.4%・同率)



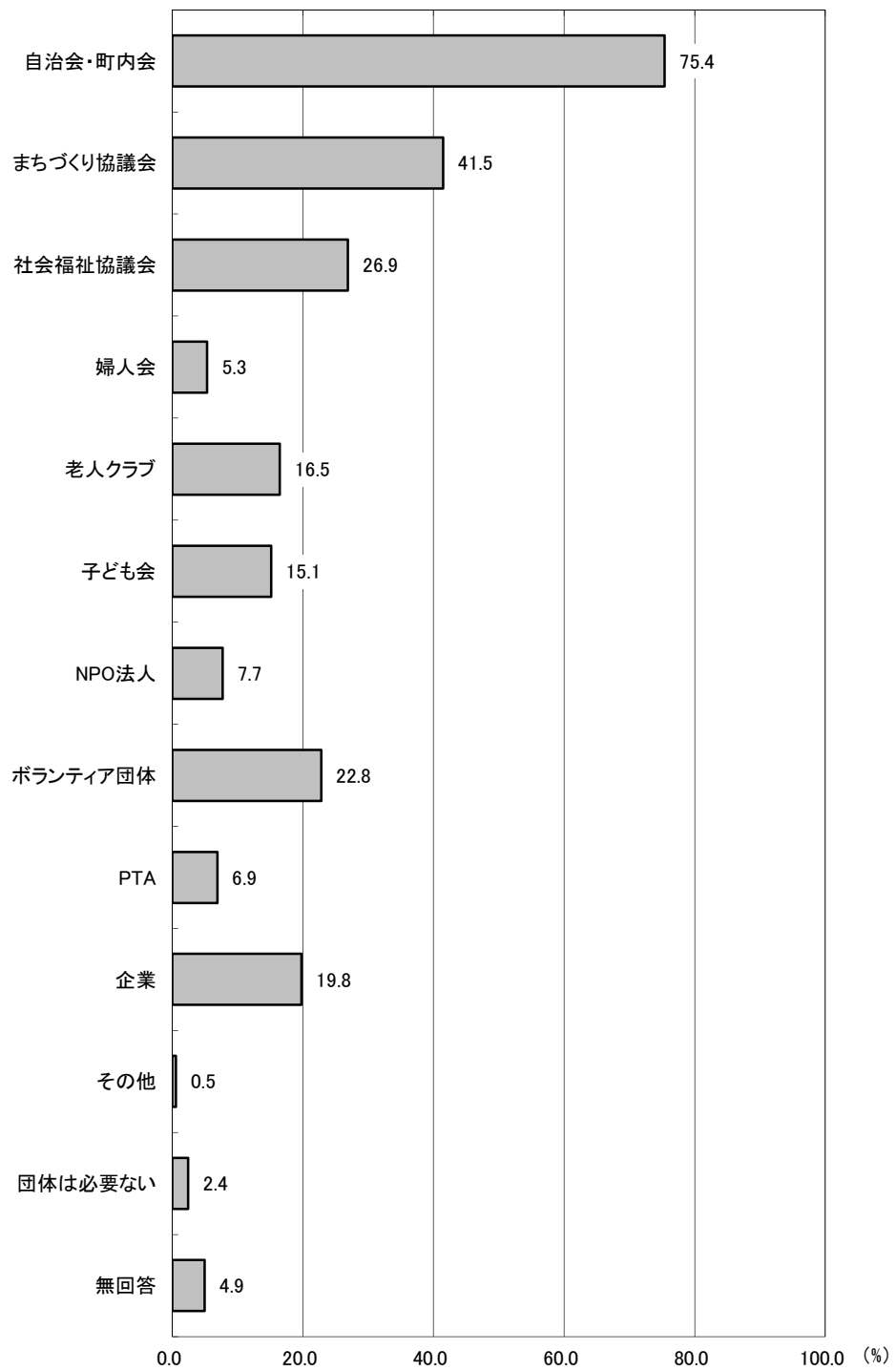
- 自分にとって地域活動をするメリットがない
- どんな活動をしていいのかわからない
- 地域の団体のことがよくわからない
- 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい
- 参加することに負担を感じる
- 地域の人たちとかかわりを持ちたくない
- 会費や参加費を払いたくない
- 地域活動する時間がない
- 特に理由はない
- その他
- 無回答

問 17 これからの地域活動を支える大切な団体は何としますか。次の中から 3 つまで選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自治会・町内会	961	75.4
2 まちづくり協議会	529	41.5
3 社会福祉協議会	343	26.9
4 婦人会	68	5.3
5 老人クラブ	210	16.5
6 子ども会	193	15.1
7 NPO法人	98	7.7
8 ボランティア団体	291	22.8
9 PTA	88	6.9
10 企業	252	19.8
11 その他	7	0.5
12 団体は必要ない	31	2.4
無回答	63	4.9

- ◇ これからの地域活動を支える大切な団体は、
- 1位 「自治会・町内会」(75.4%)
 - 2位 「まちづくり協議会」(41.5%)
 - 3位 「社会福祉協議会」(26.9%)



(5)「自治会・町内会」について

問 18 あなたの住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているか知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

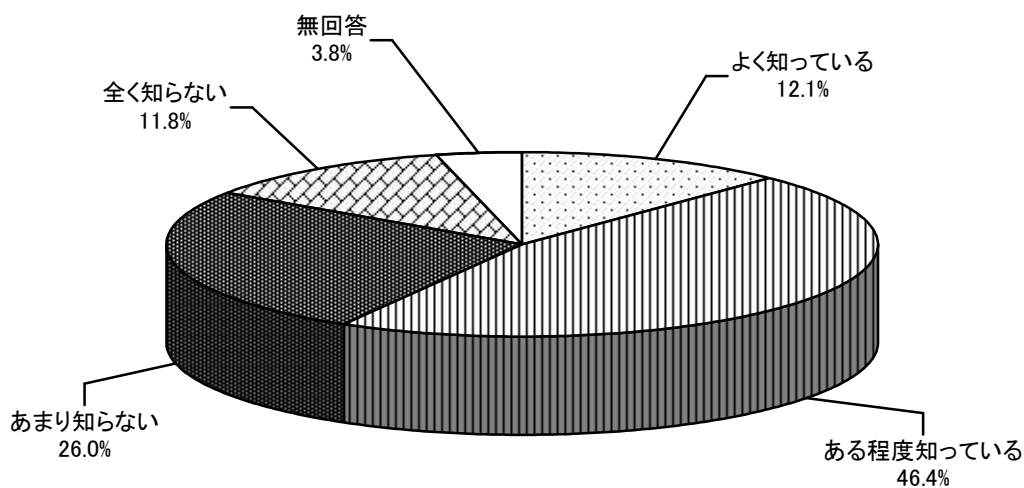
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 よく知っている	154	12.1
2 ある程度知っている	592	46.4
3 あまり知らない	331	26.0
4 全く知らない	150	11.8
無回答	48	3.8

◇ 住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているかを、

1位 「ある程度知っている」(46.4%)

2位 「あまり知らない」(26.0%)

3位 「よく知っている」(12.1%)



よく知っている
 ある程度知っている
 あまり知らない
 全く知らない
 無回答

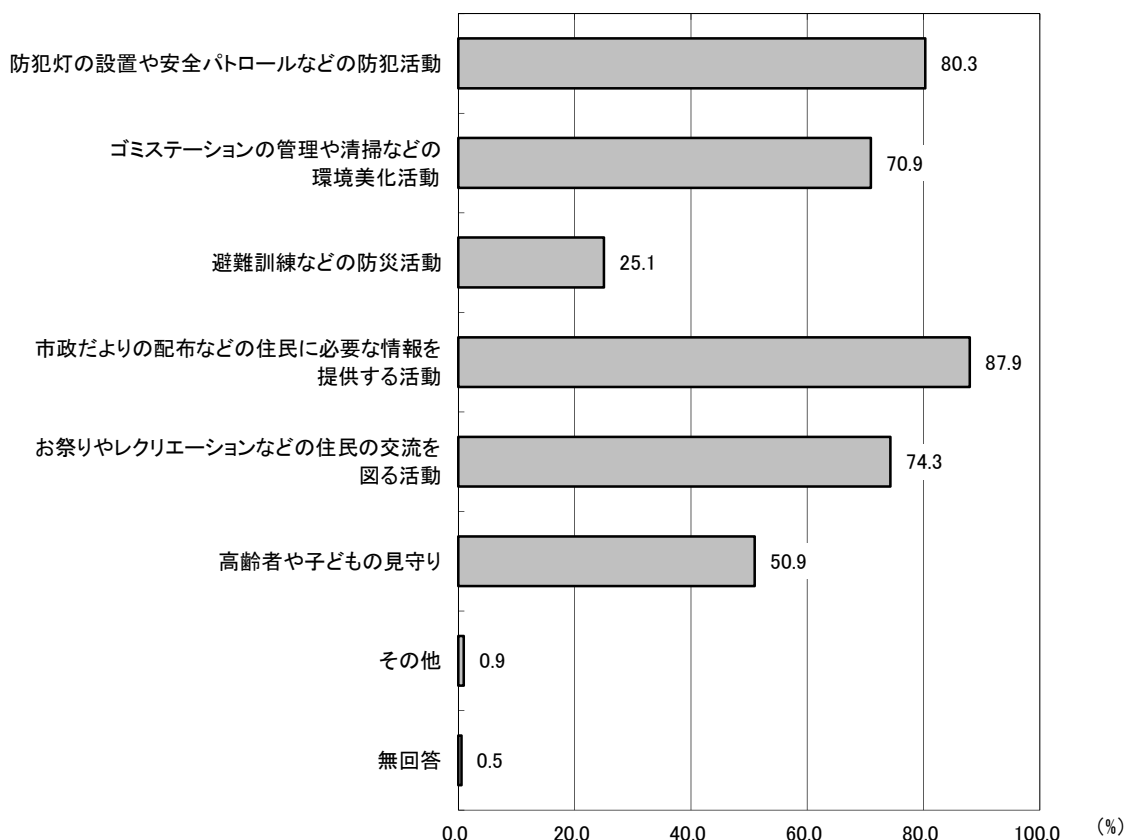
副問 18-1 問 18 で 1、2 を選んだ方におたずねします。あなたが知っている地域の自治会・町内会の活動に当てはまるものすべてを選んでください。

N : 746 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動	599	80.3
2 ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動	529	70.9
3 避難訓練などの防災活動	187	25.1
4 市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動	656	87.9
5 お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動	554	74.3
6 高齢者や子どもの見守り	380	50.9
7 その他	7	0.9
無回答	4	0.5

◇ 知っている地域の自治会・町内会の活動は、

- 1位 「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(87.9%)
- 2位 「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.3%)
- 3位 「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(74.3%)

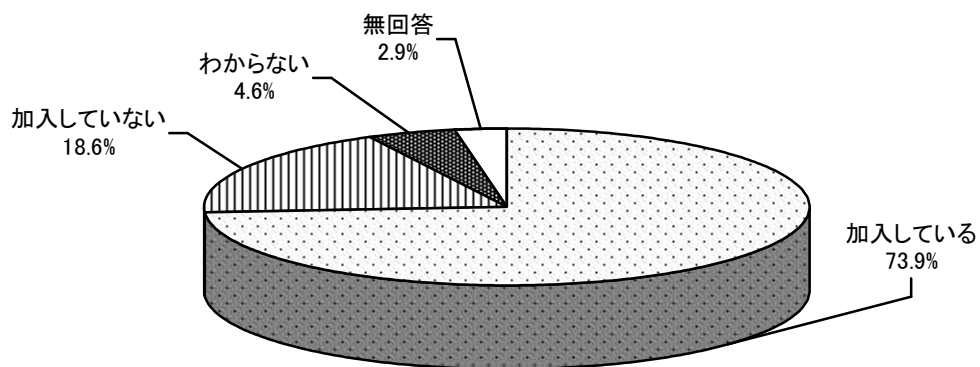


問 19 あなた（あなたの世帯）は、自治会・町内会に、加入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 加入している	942	73.9
2 加入していない	237	18.6
3 わからない	59	4.6
無回答	37	2.9

- ◇ 自治会・町内会への加入状況は、
- 1位 「加入している」(73.9%)
 - 2位 「加入していない」(18.6%)
 - 3位 「わからない」(4.6%)



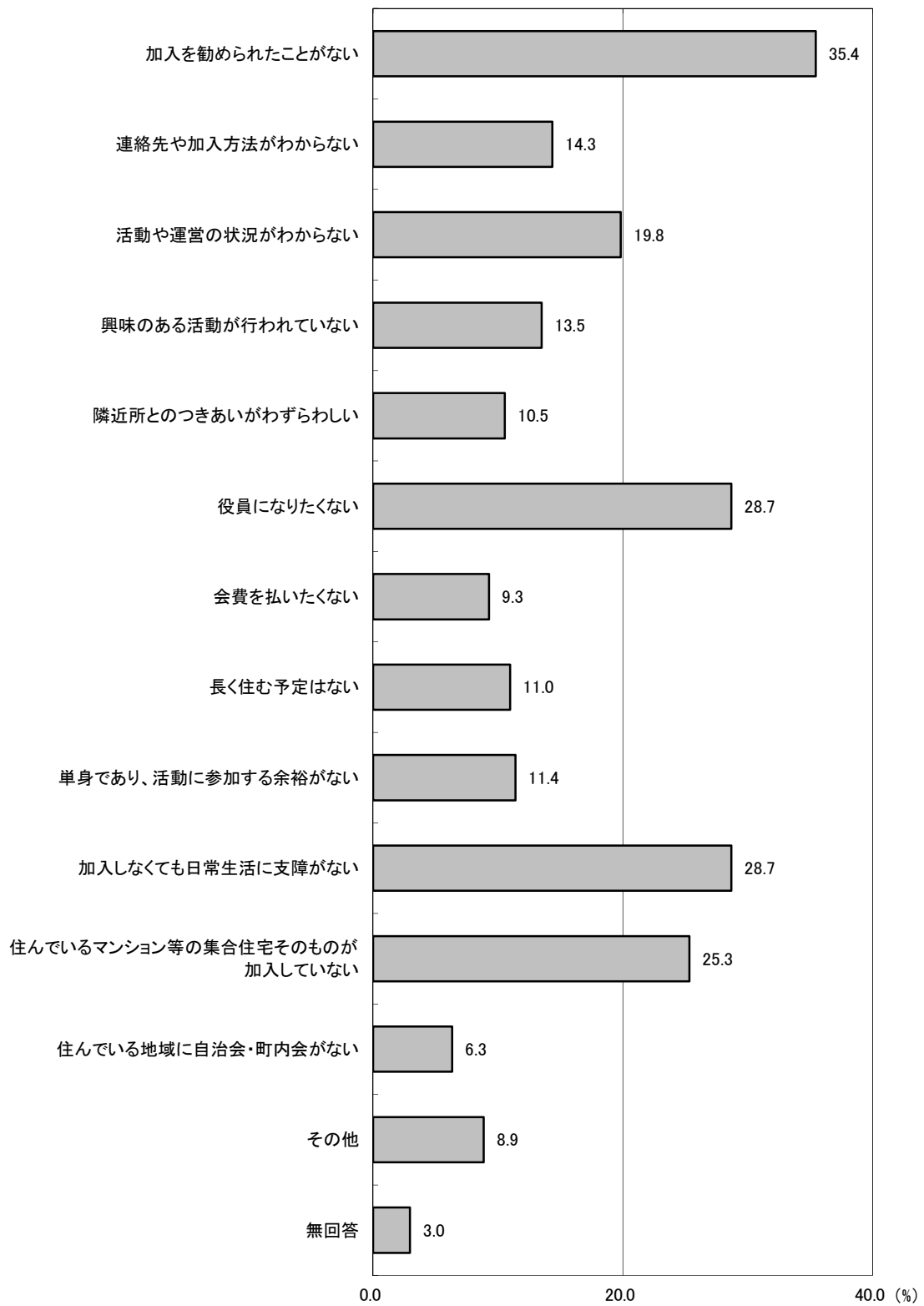
加入している
 加入していない
 わからない
 無回答

副問 19-1 問 19 で 2 を選んだ理由について、次の中から当てはまるものすべてを選んでください。

N : 237 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 加入を勧められたことがない	84	35.4
2 連絡先や加入方法がわからない	34	14.3
3 活動や運営の状況がわからない	47	19.8
4 興味のある活動が行われていない	32	13.5
5 隣近所とのつきあいがわずらわしい	25	10.5
6 役員になりたくない	68	28.7
7 会費を払いたくない	22	9.3
8 長く住む予定はない	26	11.0
9 単身であり、活動に参加する余裕がない	27	11.4
10 加入しなくても日常生活に支障がない	68	28.7
11 住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	60	25.3
12 住んでいる地域に自治会・町内会がない	15	6.3
13 その他	21	8.9
無回答	7	3.0

- ◇ 自治会・町内会に「加入していない」理由は、
- 1位 「加入を勧められたことがない」(35.4%)
 - 2位 「役員になりたくない」(28.7%・同率)
 - 「加入しなくても日常生活に支障がない」(28.7%・同率)



(6)「住民主体によるまちづくり」について

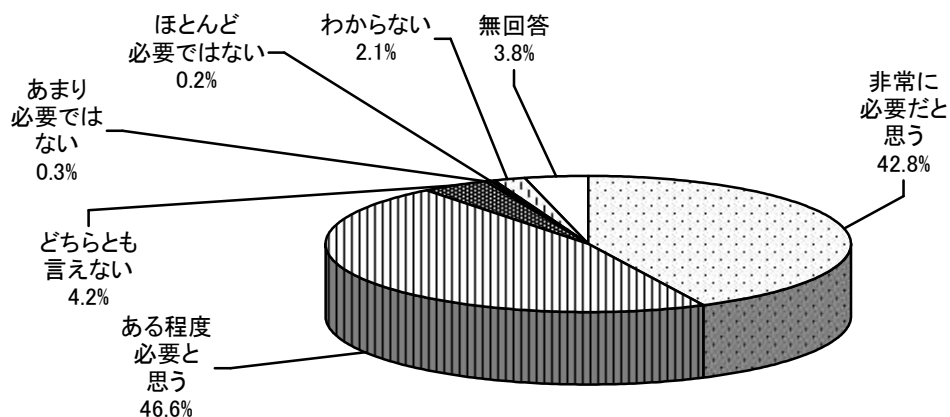
問 20 高齢者や子どもの見守り、防災・防火活動など、同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかうとする活動が市内各地で行われていますが、あなたはこのような住民主体によるまちづくりは必要と思われますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 非常に必要だと思う	546	42.8
2 ある程度必要と思う	594	46.6
3 どちらとも言えない	53	4.2
4 あまり必要ではない	4	0.3
5 ほとんど必要ではない	3	0.2
6 わからない	27	2.1
無回答	48	3.8

◇ 住民主体によるまちづくりが必要かは、

- 1位 「ある程度必要と思う」(46.6%)
- 2位 「非常に必要だと思う」(42.8%)
- 3位 「どちらとも言えない」(4.2%)



非常に必要だと思う
 ある程度必要と思う
 どちらとも言えない
 あまり必要ではない
 ほとんど必要ではない
 わからない
 無回答

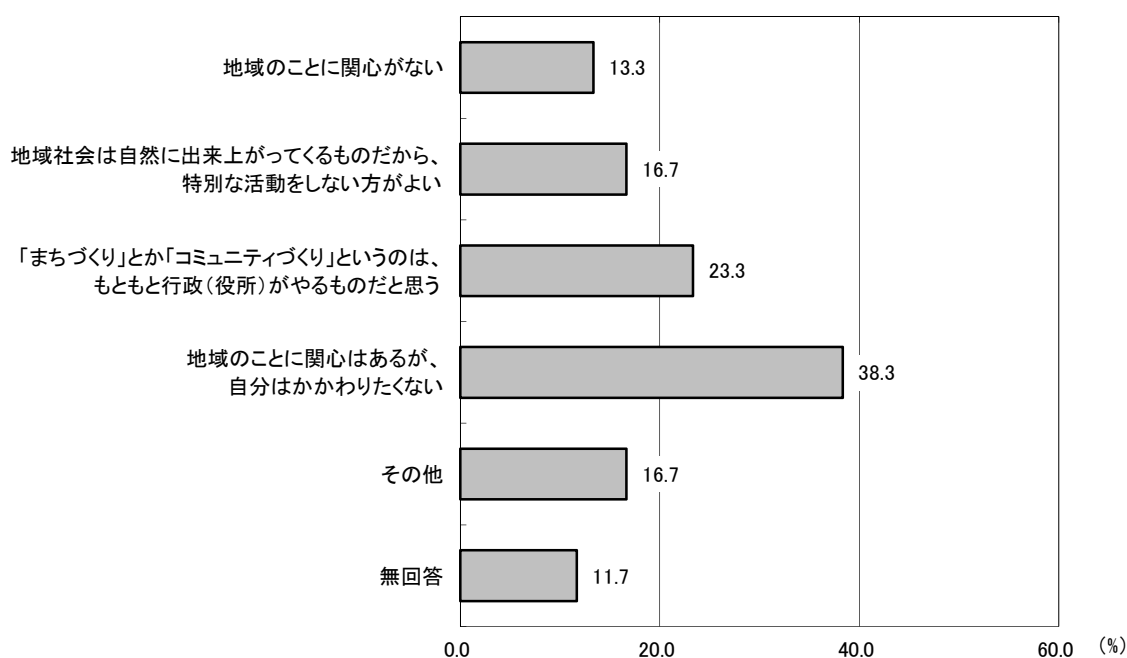
副問 20-1 問 20 で 3、4、5 を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 2 つまで選んでください。

N : 60 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 地域のことに興味がない	8	13.3
2 地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい	10	16.7
3 「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政（役所）がやるものだと思う	14	23.3
4 地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない	23	38.3
5 その他	10	16.7
無回答	7	11.7

◇ 住民主体によるまちづくりが必要かについて、「どちらとも言えない」「あまり必要ではない」「ほとんど必要ではない」と思う理由は、

- 1 位 「地域のことに興味はあるが、自分がかかわりたくない」(38.3%)
- 2 位 『「まちづくり」とか「コミュニティづくり」というのは、もともと行政（役所）がやるものだと思う』(23.3%)
- 3 位 「地域社会は自然に出来上がってくるものだから、特別な活動をしない方がよい」(16.7%・同率)
「その他」(16.7%・同率)

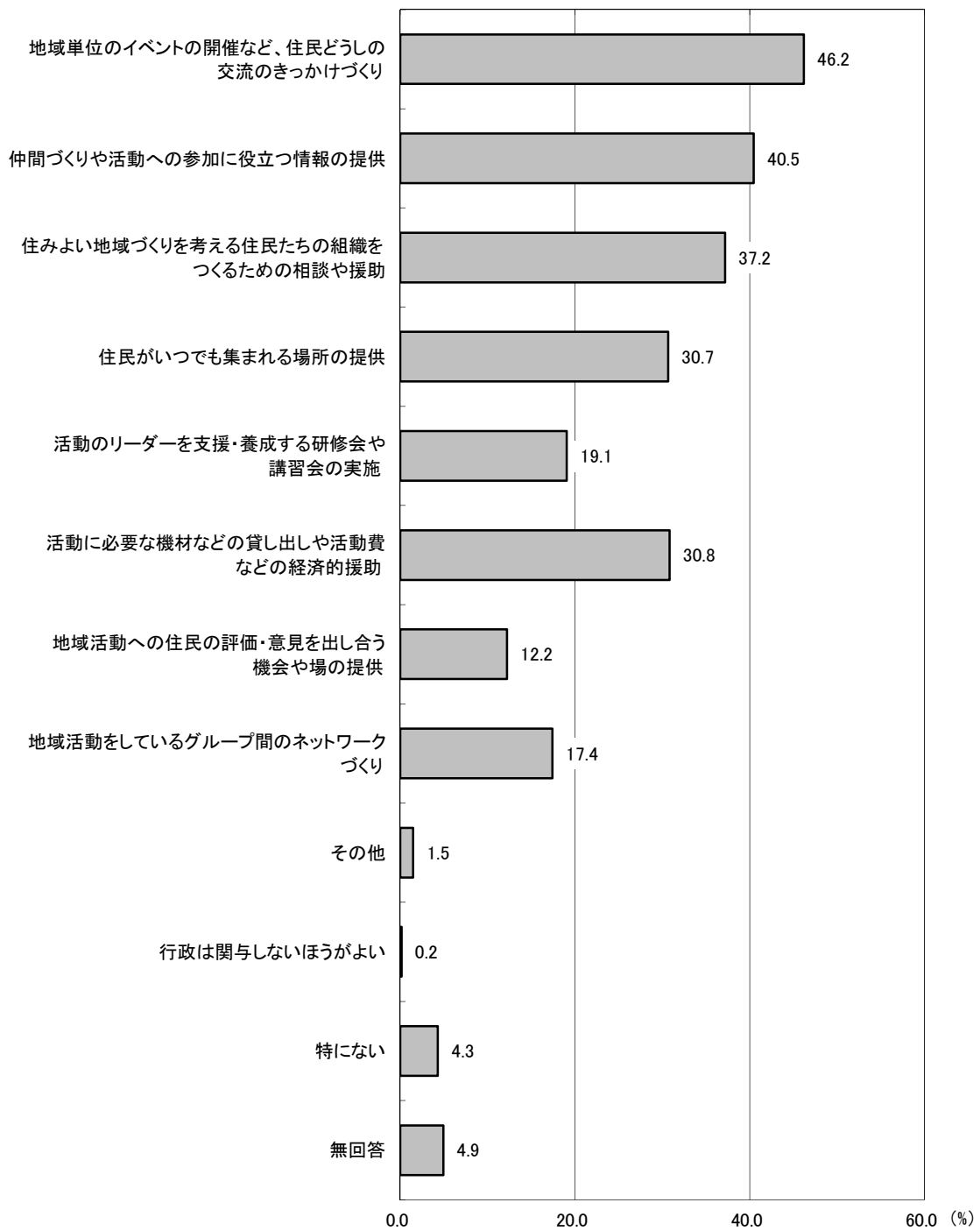


問 21 あなたは、高齢者や子どもの見守り、防災・防火活動など、同じ地域に住む人たちが自分たちの手で自主的に住みやすい地域社会をつくっていかこうとする活動を進めるために、行政は今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

N : 1,275 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり	589	46.2
2 仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供	516	40.5
3 住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助	474	37.2
4 住民がいつでも集まれる場所の提供	391	30.7
5 活動のリーダーを支援・養成する研修会や講習会の実施	243	19.1
6 活動に必要な機材などの貸し出しや活動費などの経済的援助	393	30.8
7 地域活動への住民の評価・意見を出し合う機会や場の提供	156	12.2
8 地域活動をしているグループ間のネットワークづくり	222	17.4
9 その他	19	1.5
10 行政は関与しないほうがよい	2	0.2
11 特にない	55	4.3
無回答	63	4.9

- ◇ 住民主体のまちづくりを進めるために、今後、行政が取り組むべきことは、
- 1位 「地域単位のイベントの開催など、住民どうしの交流のきっかけづくり」
(46.2%)
 - 2位 「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」(40.5%)
 - 3位 「住みよい地域づくりを考える住民たちの組織をつくるための相談や援助」(37.2%)



5 参考

過去の調査実施状況

年度	実施時期	回収	率(%)	特定テーマ調査
平成 12	9月26日～10月24日	1,736	57.9	コミュニティ意識と実態
平成 13	10月26日～11月26日	1,725	57.5	(別途実施) 青少年をとりまく 環境と教育のあり方について
平成 14	9月25日～10月25日	1,849	61.6	市民力によるまちづくり
平成 15	10月10日～10月31日	1,745	58.2	住みよさを感じて誇りをもてる まちづくり
平成 16	10月12日～11月 2日	1,725	57.5	安全・安心のまちづくり
平成 17	9月20日～10月11日	1,861	62.0	市民のモラル・マナーについて
平成 18	10月 9日～10月20日	1,395	46.5	ごみ減量・リサイクルへの意識 の向上について
平成 19	9月21日～10月12日	1,747	58.2	これからのまちづくりについて
平成 20	9月19日～10月10日	1,589	53.0	世界の環境首都に向けたまちづ くり
平成 21	9月18日～10月12日	1,618	53.9	新しいまちづくりによる市民満 足度等について
平成 22	9月18日～10月11日	1,941	64.7	多文化共生について
平成 23	9月17日～10月11日	1,547	51.6	市民のちからについて
平成 24	4月20日～5月18日	1,400	46.7	仕事の見直しのための状況調査
平成 25	6月21日～7月12日	1,395	46.5	市民のモラル・マナーについて